

徳山工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	総合実地演習 2	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	機械電気工学科		対象学年		2		
開設期	前期		週時間数		4		
教科書/教材	就業機関の指示による。						
担当教員	垣内田 翔子						
到達目標							
社会や大学での体験を通じて、今後の高専生活の過ごし方を考える。また、学生生活の意義と目標を確かなものにし、就職や進学の足掛かりにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		企業評価が優である。		企業評価が良である。		企業評価が不可である。	
評価項目2		実習内容を分かりやすく説明でき、内容がまとまっている。		実習内容がある程度説明でき、内容がほぼまとまっている。		実習内容が説明できておらず、内容がまとまっていない。	
学科の到達目標項目との関係							
到達目標 C 2							
教育方法等							
概要		実社会での就業や大学における研究等を体験することにより、これまで学校で学習してきたことの反省と、今後何をすべきかを考えるきっかけとする。					
授業の進め方・方法		夏季休業中の 2 週間程度で、各修業機関の指示に従った研修を体験する。また、その成果を報告する。					
注意点		本科目の履修に関する条件および手続きの詳細は別に定める。履修した学生は、事前のマナー講習の受講と事後の発表会での発表が必須である。					
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標	
		1週	実地演習の説明				
		2週	実地演習先の調査・希望 7月上旬までに学級担任と相談の上、決定する。				
		3週	就業先機関の（企業、公的機関および大学）の指導担当者の指示による実習。				
		4週	研修終了後は、成果報告書（別に定める）を提出する。				
		5週	発表会の開催				
		6週					
		7週					
	2ndQ	8週					
		9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	実習	発表	態度	その他	合計		
総合評価割合	70	10	10	10	100		
基礎的能力	40	7	10	10	67		
専門的能力	20	2	0	0	22		
分野横断的能力	10	1	0	0	11		